

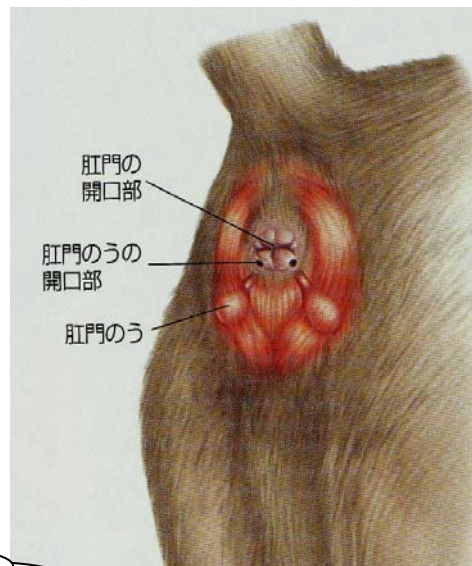
# 肛門腺について



ワンちゃんがお尻を床にすりつけて歩いている姿を見た事はありませんか？  
お尻を気にして舐めているような仕草をした時は、肛門腺の分泌物がたまっている合図です。  
そのようなときは肛門腺（肛門のう）をしぼってあげましょう。  
また、日頃から愛犬の肛門腺をチェックする習慣をつけましょう。

## 肛門腺とは？

- ◆犬には肛門の両脇に臭腺が一对あります。この臭腺は袋状になっていて、肛門囊（のう）を形成しています。
- ◆肛門を左右から押してあげると独特の臭いを持つ脂状の貯留物が排泄されます。肛門腺は、犬や猫にとってニオイつけの為の大切な手段ですが、イタチやスカンクは敵に襲われたときの武器（肛門腺から出るあまりに強烈な臭いに敵がひるんだ隙に逃げる）にしている事は良く知られています。



肛門腺の病気って・・・？

## 肛門囊炎

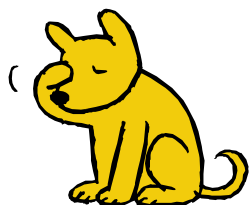
### 【原因】

肛門のうにたまった肛門腺の分泌液は、通常ある程度自力で排泄することが可能ですが、下痢や便秘などの体調不良、ストレス、加齢による代謝の変化、太りすぎなどの要因で、過剰な貯留を引き起こすことがあります。この状態を放置しておくとも細菌感染等が加わり、肛門のうが炎症を起こします。ひどい時には皮膚に穴があき、出血したり膿のようなものが出てきます。

### 【症状】

色々な症状を現しますが、肛門部を舐めたり噛んだり、地面や床にすりつけて歩く独特の動作をしたり、自分の尾を追いかけてぐるぐる回る動作をする、などがあります。また、慢性的な不快感のために犬の性格が変わることもあります。肛門のう炎が放置され化膿すると、発熱・食欲低下などの症状を引き起こすこともあります。

### 【治療・予防】



軽度な場合は、内服薬の投与で化膿を抑えます。化膿が進行して、肛門のうに膿の貯留が著しいときには、外科的に処置を行って排膿・洗浄を行う必要があります。また、治癒すれば破れてしまった肛門腺も元に戻りますが、また再発することもあります。  
予防として、肛門腺が溜まりやすい場合には、薬を定期的に肛門のうに注入する方法もあります。また、何度も再発をくり返す場合には、手術で肛門のうを切除することもあります。



# 肛門腺のしぼりかた

1

尾を片方の手で持ち上げて、もう片方の手でティッシュペーパーや湿らせたガーゼなどを、肛門腺の部分（時計の文字盤に例えて、ちょうど4時と8時にあたる）にあて指で押さえます。

2

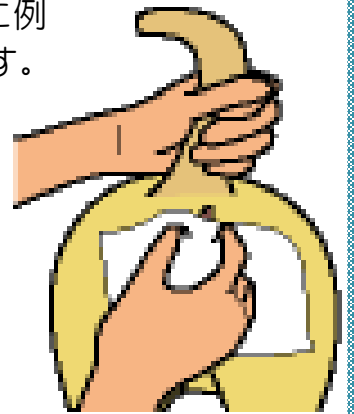
押さえた所を下から上に押し上げるようにキュッキュッと揉む様になると、肛門から臭いのある膿みみたいなものが出ます。

また、2～3回しぼって全部出しきって下さい。

\*この時、分泌物がピュッと飛び出す事もあるため、かからないように注意しましょう！

3

ティッシュペーパーやガーゼなどで肛門腺をきれいにふき取ります。



しぼるコツ

ブドウをつぶす位の力加減で、奥から手前にしぼり出します。

しぼる目安

1ヶ月に1回はしぼり出してあげるのが良いでしょう。

★シャンプーをする前にしぼり出してあげると、そのまま洗い流してしまうことが出来るので、ティッシュペーパーなどを使わず、臭いも残らないのでオススメです。

★当院でトリミングをする際には、毎回『肛門腺しぼり』も行なっています。

★初めてしぼる時は上手にできないかもしれませんが、何回か練習するうちに慣れてきます。また、なかには肛門腺が奥のほうにあったり、固くなったり、しぼりにくい子もいます。無理して力を入れすぎると、痛がったり出血したりする場合がありますので、そのような場合は当院にご相談ください。